

令和 2 年

第 13 回 教育委員会 定例会

# 議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和2年 第13回 **定例**・臨時委員会 議事録

委 員 会 日 程		会 場
開会日時	令和2年10月23日 午前・ <b>後</b> 2時30分	佐渡島開発総合センター 2階 第3会議室
閉会日時	令和2年10月23日 午前・ <b>後</b> 4時06分	
延会日時	平成 年 月 日 午前・後 時 分	
出席者		欠席委員
教育長 渡邊 尚人		会議録署名委員
1番委員 仲川 正道		信田 恵子
		池 典比古
		2番委員 中村 友子
3番委員 信田 恵子		
4番委員 池 典比古		
説 明 の た め 出 席 し た 職 員		
教育総務課 課長 坂田 和三 課長補佐 高野 久之 総務係長 飯田 誠 調査員 中川 啓一 学校経営指導員 本間 健人		社会教育課 課長補佐 柳澤 正二 社会教育係長 小崎 浩明
学校教育課 課長 濱田 晴明 管理主事 森 和人		
傍 聴 人	有 <b>無</b>	
報 告 の 要 旨	「議事の概要」のとおり	

会議で行った選挙の結果
なし

会議に付議した事件の題目	
議案第 60 号	公の施設に係る指定管理者の指定について（佐渡市総合体育館、佐和田テニスコート、佐和田野球場）
議案第 61 号	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について
報告事項	1 学校情報について 2 第 2 回新たな学校教育環境整備検討懇談会について 3 その他
次回会議開催日	
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数	
なし	
請願、陳情	有・ <b>無</b> 有の場合、別紙のとおり
その他必要と認めた事項	
特になし	

【議事の概要】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> </ul>	<p>◎本定例教育委員会は、午後 2 時 30 分から開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ただ今から令和 2 年第 13 回佐渡市教育委員会定例会を開催いたします。</li> <li>・ 初めに、日程第 1、「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は佐渡市教育委員会会議規則第 18 条の規定により、信田委員と池委員の 2 名を指名いたしますので、よろしく願いいたします。</li> <li>・ 次に、議案第 60 号は市議会への上程前であることから、また議案第 61 号及び報告事項 1 は人事及び個人情報に関する内容が含まれていることから、佐渡市教育委員会会議規則第 7 条の規定により秘密会としたいので、これに賛成の方は挙手をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員全員</li> <li>・ 渡邊教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挙手</li> <li>・ 議案第 60 号、議案第 61 号、報告事項 1 については、秘密会とすることといたします。</li> </ul>
	<p><b>【秘密会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第 60 号「公の施設に係る指定管理者の指定について（佐渡市総合体育館、佐和田テニスコート、佐和田野球場）について」、柳澤社会教育課長補佐から説明する。</li> </ul> <p><b>【以上の議案については、質疑を経て原案どおり可決された。】</b></p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告事項 1 「学校情報について」、森管理主事から説明する。</li> </ul> <p><b>【以上の報告については、質疑を経て終了する。】</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告事項 2 「第 2 回新たな学校教育環境整備検討懇談会について」、事務局の説明を求めます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坂田教育総務課長</li> </ul>	<p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月 22 日に開催された第 2 回検討懇談会では、9 月に市内の小中学校、幼稚園、保育園の保護者を対象に実施したアンケート調査の結果、計画の素案のベースとなる整備計画検討資料、11 月中旬に開催を予定している地域懇談会について説明し、懇談会参加者の皆様からご意見をいただきました。</li> <li>・ 検討懇談会における検討資料や地域座談会でのご意見は、この後、改めて検討し、修正、反映させていただきたいと考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中川総務係調査員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな学校教育環境整備計画、学校教育環境整備に関する保護者アンケート、学校間連携（チェンスクール）、11 月 17 日から 20 日に開催予定の地域座談会について説明。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本間学校経営指導員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡市立小・中学校「学校再編イメージ図」、「学校間連携イメージ図」、「学校の区分と学校間連携の概要と相違点」について説明。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ただ今の説明に関して質問、ご意見がありましたらお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仲川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体について感想を言わせていただきます。これだけの膨大な資料を的確にまとめていただき、ありがとうございました。アンケートの意見にも目を通させていただきました。幾つか印象を述べます。行政を批判、非難するのは容易だが、</li> </ul>

<p>・池委員</p>	<p>実際に現実に基づいて進めていく担当はとても大変で、本当にご苦労さまと思います。一方で理想論を述べることも容易だと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 一例として、学校統廃合よりも先に人口をいかに増やすか、子どもをいかに増やすか計画を立てる、というニュアンスの意見がありました。それがあれば何も問題はない。ほとんど全ての地域で同様の問題を抱えながら、佐渡だけ特別に人口増加のプランが立てられたらすばらしい。しかし現実は違う。</li><li>・ 第1期の整備計画に比べ新しいアイデアが出てきていることも感じました。スクールチェーン、あるいはイギリスでいうフェデレーション、それから、オンライン教育、義務教育学校、これらが明確に出され検討材料に挙げていることはとてもすばらしい。市民にも分かるように、機会を設けてぜひ提示をしていただきたい。</li><li>・ 次にアンケートの回収率について、一番回収率が良いのが幼稚園、保育園、次に小学校、そして中学校は何とも残念な回収率で半分にも満たない。次回は中学校で回収率を上げるよう工夫が必要だと思います。自分たちには関係ないと言ってもらっては困る。佐渡全体の問題に関わってもらいたい。</li><li>・ 質問というか感想です。回収率は大事です。7割超えると説得力があると思うのですが、50%を切る回収率ではみんなを説得することはできないというのが最初に思ったことです。「ぜひ集めてください」という問いかけをすともっと集まるかなど。学校現場にいたから分かるのですが、「希望者出してください」と言うところになりますが、「できるだけ考えを出してください」と言うと70%は集まったと思います。すばらしいアンケート内容だったので、70%の回収率であっても多分今回と同じ結果は出たと思います。そうすればもっと説得力があると思います。</li><li>・ また、データについては、数字だけが並んでいるのではなくて、各学校の生徒の推計が一目瞭然に分かりますし、保護者の方に出しても十分に分かる資料ではないかと思っています。</li><li>・ 見ていくと2クラスあるのが本当に数えるほどしかありません。令和8年は、みんな1クラスか、複式学級になってしまい、複式学級の学校の方が多くなってしまいう状況が小学校にも中学校にも見られます。これは強調してもらいたいと思います。複式でやる方が良いはずないので、統合というのは必然的に必要なのだということをぜひ伝えていただければと思います。</li><li>・ アンケートの結果分析を見ても、「統合してよかった」とか、統合学区の小学校のアンケートでのメリットで、「今までより勉強が楽しくなった」というのが80%を超えています。デメリットは、児童や保護者の方が「母校がなくなり寂しい」と言っていますが、このときはそう思うと考えますが、これが続いたときの学習成果から言えば、絶対統合して良かったということが出てくるのではないかと思います。ですので、1枚目、2枚目、3枚目までの資料である程度保護者を納得させる方向性は打ち出せるかなど。数字だけがずらずら出てきても保護者は分からないと思いますので、こういう形ではっきり目に見えて分かるものが非常に大事だと思います。</li></ul>
-------------	---

<p>・ 本間学校経営 指導員</p> <p>・ 池委員</p> <p>・ 信田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートの結果を見ても、「積極的に統合した方がよい」あるいは「統合することはやむを得ない」というのがほぼ50%を超えていますので、これは総意であると思っています。3番目が一番多く、「地理的条件等で統合が困難な場合、特色ある学校づくりをして存続させたほうがよい」というものですが、これも全く反対ではなくて、やむなしと思っているのかなと。そうすると、大事なのは学習環境、きめ細かな指導、家から学校までの距離や時間、通学路の安全確保と、路線バスやスクールバスという通学手段です。要はしっかり学習ができることと、通学その他負担がかからないように確保してやること。あとは人間関係、いじめとかの部分も含めて、良い人間関係をつくれる整備をしてやることの3つが大丈夫だと言え、反対はないのではないかと思います。</li> <li>・ 義務教育学校になったときは、小学校にしか校長がいない。本校や拠点校からの出だしはあると思うのですが、以前、佐渡で校長が1人でやったことがあったが、うまくいかなくて、また元に戻した経緯があったと思います。校長1人に教頭が2人ついてという形で、校長が小学校の出張も出なければ駄目だし、中学校の出張も出なければ駄目だし、なおかつ佐渡内だけではなくて、県の校長会になると県の方に小学校、中学校それぞれ行かなければ駄目になると、学校に校長がいないという形が出てきたり、決定事項等がうまくいかなかったり、いろいろなことがあってそうだったのではないかと思いますので、それが不安な面です。</li> <li>・ 事務主幹と事務の配置はいかがでしょうか。ここに事務は書いていないので、事務も入るのですか。</li> <li>・ 義務教育学校になった場合の事務職員等の配置ですが、実際に県の方に申請はしていないんですが、学級数でいくと1つの学校に3学級あれば養護教諭、4学級で事務職員の配置があることになります。例として、中学校が1名で1学級、小学校は2名で1学級とすると、計2学級ですので基本的に配置がないものと考えますが、ただ小学校の学年が離れていますと、間を挟んだ飛び級ということで、2学級となれば3学級で養護教諭の配置が可能ではないか。事務職員につきましては、事務の共同実施がありますので、拠点校の方に事務職員2名というようにイメージしています。実際に県の義務教育学校の教員の配置については、まだ手元に資料がありませんので承知しておりません。</li> <li>・ 今後分からないことがこれからいろいろ出てくると思います。もし、こういう形で統合すると、職員数もある程度少なくなってきて、県とか国からお金が出る分は半分ぐらいあって市の方で出すものも少なくなるので、子どもたちの学習支援という形で、佐渡独自の、充実した指導体制で職員を増やすなどを考えていただくと、保護者にとっては非常に有益だと思いますので、検討していただければと思います。チェーンスクールは、非常に素晴らしい計画だと思いますので、こういうふうに具体的に書いていただくと保護者にも伝わると思います。読むだけでは、なかなか分かりづらいので、より要約した形で示してもらえると、保護者の方にも通じるのではないかと思います。</li> <li>・ 事前にいただいた資料が、一つ一つの保護者からのアンケートの声を記載してくださって、本当に詳細に分かりやすく、私自身がこのアンケートのご意見を</li> </ul>
--	---



<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ 濱田学校教育課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ では、日程等を調整させていただきたいと思います。よろしくお願いします。</li> <li>・ 報告事項 3、その他について、事務局から何かございますか。</li> </ul> <p><b>【説明要旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立佐渡中等教育学校 1 年生から 3 年生の前期課程の遠距離通学費の補助について、現行の市立学校の遠距離通学支援に加えて、新たな支援を行うことを検討しています。基本的には、片道の通学距離が 6 キロメートル以上を路線バスで通学する 1 年生から 3 年生、前期課程を対象に路線バスの通学定期券購入費用の 2 分の 1 を補助する制度を考えております。</li> <li>・ この新たな補助制度の途中経過として、10 月 20 日の総務文教常任委員会で説明し、質問や意見が出されたことを報告した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ 仲川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問等ありましたらお願いします。</li> <li>・ 個人的な個別の理由で他の小中学校区に通う児童生徒については現状のまま、個別の事情で対応すればよろしいと思います。中等教育学校については全県 1 区として募集をしていますが、佐渡にいる子どもしか通えないのが実情ですので、佐渡地区のどこからでも通学できるような配慮と支援が必要と思います。佐渡市のどこに住んでも家計にそれほど大きな負担にならないように、佐渡市は中等教育学校の前期課程も支援をするのだという方針がよろしいと思います。きっかけは例の募集停止構想だろうと思いますが、良い機会ですので、支援のあり方の検討をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ 委員全員</li> <li>・ 渡邊教育長</li> <li>・ 仲川委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他にございますか。</li> <li>・ 質疑なし</li> <li>・ 質疑なしと認めます。</li> <li>・ その他に入っていますが、委員の皆様から何かございますか。</li> <li>・ 総合教育会議の案内が来ていますが、新たな学校教育環境整備計画についてはどこまで話を進めるつもりでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坂田教育総務課長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今のところは、細かい資料等々というところまではお話しできませんので、座談会も踏まえて、座談会も基本的には先ほど申しあげました検討資料というところを中心にお話をして、様々なご意見をいただきたいというところですので、形を変えるにしても提案の部分は提案の部分として、今日のお話ししたことが中心になるかと思っております。これから調整をさせていただきたいと思っております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡邊教育長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日程第 5、次回会議の開催日について事務局の説明を求めます。</li> </ul> <p><b>【次回の会議は、11 月 26 日（木）に定例会を開催したい旨を説明した。】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以上で令和 2 年第 13 回佐渡市教育委員会定例会を閉会いたします。</li> </ul> <p>午後 4 時 06 分終了</p>